



近所さん同士の立ち話からサロンへ

町会婦人部が中心となり始まったサロン。最初は、道端での井戸端会議から始まりました。しかし外で話をするのも…ということになり、町会会館に場所を移し、活動がスタートしました。

現在は月に2回、町会会館と近所のマンションの集会所を利用して活動しています。



月に2回のサロンは近所の気になることを話し合う、大切な時間です

地域に目を向け、広がる活動

活動内容は、脳トレ、手話コーラス、ハンドベル、簡単な体操など楽しいプログラムと共に、会話もはずみます♪元お天気お姉さんを講師に迎え、和やかな雰囲気の中、あっという間に2時間のサロン活動は終わります。『福吉町ひまわり会の唄』も作り、活動の終わりにいつも歌っています。

活動を始めてから「最近〇〇さんお見かけしないけど、元気にしているかしらね」と、お互いを気にかけて、地域のことに興味を持つ人が増えました。

また、消防や警察、ふれあい相談員といった、関係機関を招いて講座をしていただくなど、サロンを通じて地域のつながりもどんどん広がっています。



ひまわり会の唄を
みんなで歌います♪

参加したいという気持ちを大切に

社協のサロンに登録してから4年、集まりを始めてからは8年。サロンに行きたくても、一人で出向くことが不安を感じる人もいます。その時には迎えに行き、帰りも自宅まで送ります。担当を決めず、行ける人が一緒に行く。そのちょっとした思いやりにより、和やかで居心地のいい雰囲気のサロンが、長年続いているのだと感じました。

代表の佐瀬さんは「本人のサロンに行きたいという気持ちを尊重し、メンバー内で協力し合っています」と話します。地域でのつながりを大切にしているひまわり会。今後もひまわりのように、明るく元気に地域に根差した活動を続けていってほしいと思いました。



お手製のうちわもあります！